

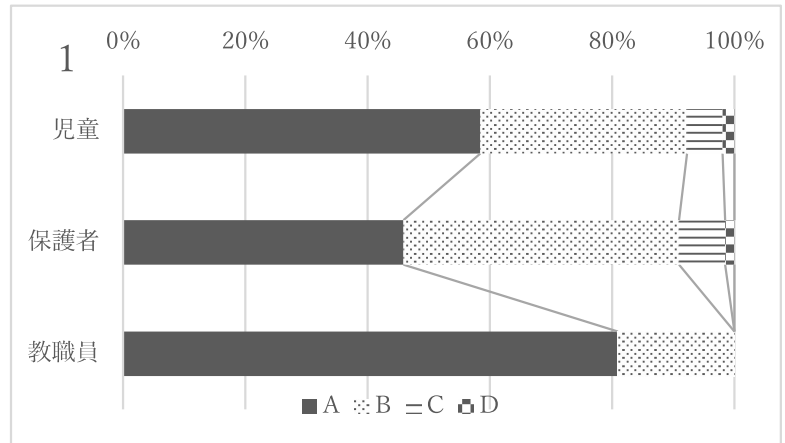
令和6年度 川崎市立下河原小学校 学校評価アンケート集計結果

(A:思う B:少しそう思う C:あまり思わない D:思わない)

① (児童) 学校の授業が「わかります」「たのしい」ですか。

(保護者) お子さんは、学校の授業が「わかる」「たのしい」と言っていますか。

(教職員) 学校の授業が「わかる」「たのしい」と感じる授業の工夫に努めていますか。

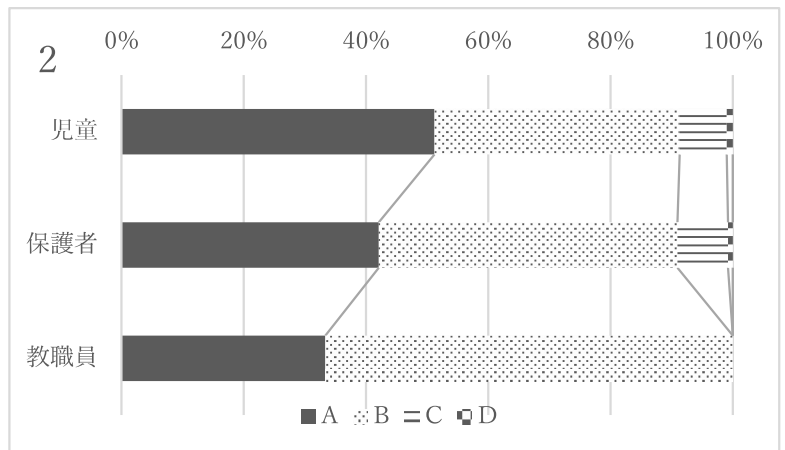


児童は90%以上がA・Bと回答しており、昨年度とほぼ同様です。しかし、「D 思わない」の回答もありました。保護者のA・Bの合計値は、昨年度90%以下に対し、今年度90%以上に伸びました。保護者の「A 思う」の回答も80%を超えています。授業の工夫と個に対する対応に努めていきます。

② (児童) 自分の思いや願いを伝えたり、自分で考えたりすることができますか。

(保護者) お子さんは、思いや願いを表現して、自分で考える力が身についたと思いますか。

(教職員) 思いや願いを表現して自分で考える力が身につく指導の工夫に努めていますか。

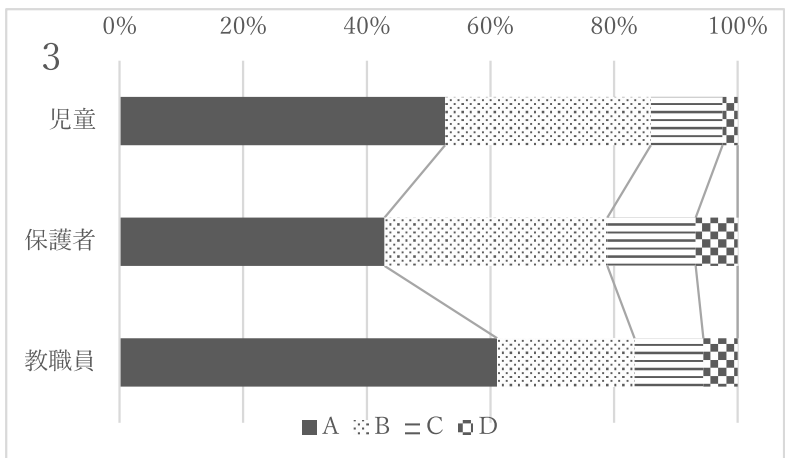


A・Bの合計値は児童、保護者、教職員ともに昨年度とほぼ同様です。しかし、「A 思う」の数値は、児童、保護者は微減、教職員は大幅減でした。「思いや願いを表現して自分で考える力が身につく指導の工夫」について、教職員で共通理解を図り、各々が自信をもって取り組めるようにしていきます。

③ (児童) 家で自分から進んで学習や宿題に取り組んでいますか。

(保護者) お子さんは、家庭で自分から進んで学習(宿題も含む)に取り組んでいますか。

(教職員) 家庭で自分から進んで学習(宿題も含む)に取り組めるように、指導や声かけをしていますか。

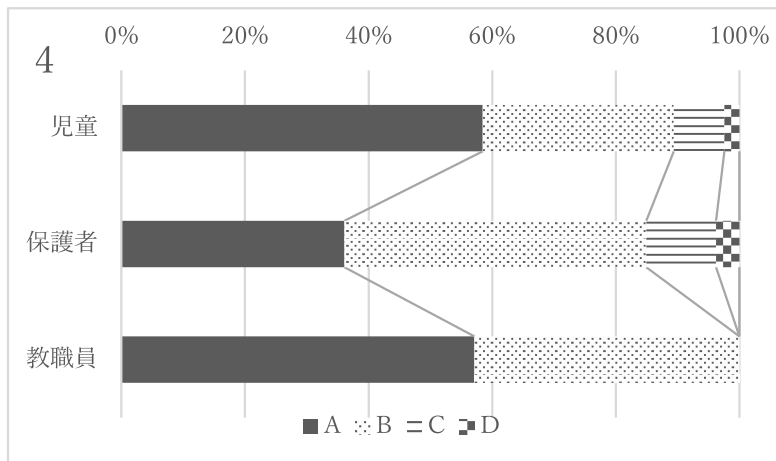


児童のA・Bの合計値は昨年度とほぼ同様です。「D 思わない」の割合がわずかに減りました。保護者のA・Bの合計値が、昨年度約70%に対し、今年度80%弱へと割合を伸ばしています。教職員は、A・Bの合計値が昨年度と比べ、約5%減りました。

④ (児童) 話を聞いたり、みんなの前で話したり、文字や文章をかいたりすることができるようになりましたか。

(保護者) お子さんは、「話を聞く力」「話す力」「文字や文章を書く力」が伸びてきていると思いますか。

(教職員) 「話を聞く力」「話す力」「文字や文章を書く力」を伸ばす指導をしていますか。

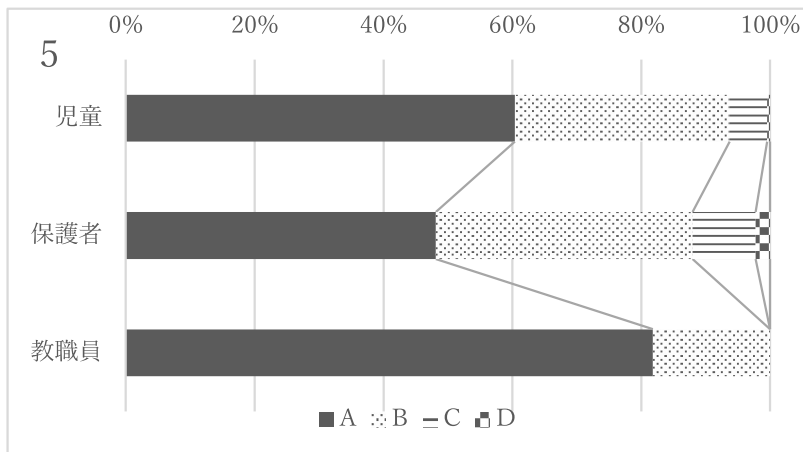


児童・保護者・教職員ともに、A・Bの数値が全体として減少傾向です。昨年度の保護者の回答には見られなかった「D 思わない」が、今年度は数%あります。具体的な指導や成果が見えにくい分、No.2の項目と同様に教職員で共通理解を図っていきます。

⑤ (児童) 家族や友達、先生方、来校者に進んであいさつをしていますか。

(保護者) お子さんは、進んで「あいさつ」や「ありがとう」を言う姿が見られますか。

(教職員) あいさつのよさを伝え、すすんでできるよう、はたらきかけるとともに、自ら手本となることができていますか。

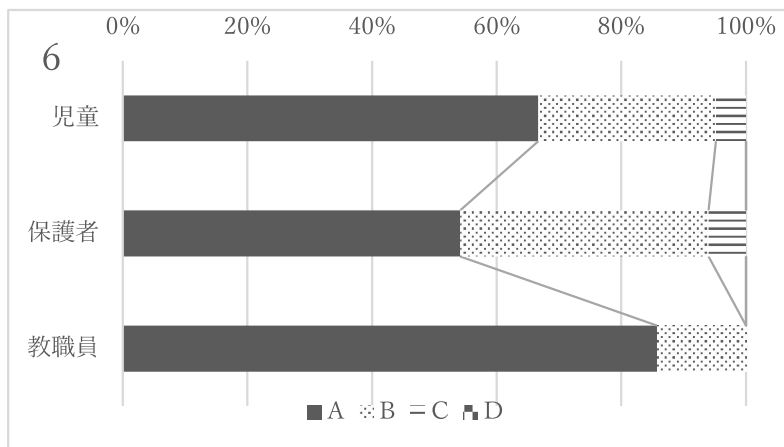


児童・保護者は「A 思う」の割合が昨年度より増えました。児童の「D 思わない」も減りました。一方で、保護者の回答は、A・Bともに微減し、Dの数値が増えています。これからも、互いの信頼関係を高め、進んであいさつができるような雰囲気作りに努めます。

⑥ (児童) 人に対して「やさしい気持ち」や「ありがとうと思う心」をもって毎日すごしていますか。

(保護者) お子さんは、「思いやりの心」や「感謝する心」が育ってきていると思いますか。

(教職員) 「思いやりの心」や「感謝する心」が育つように指導していますか。

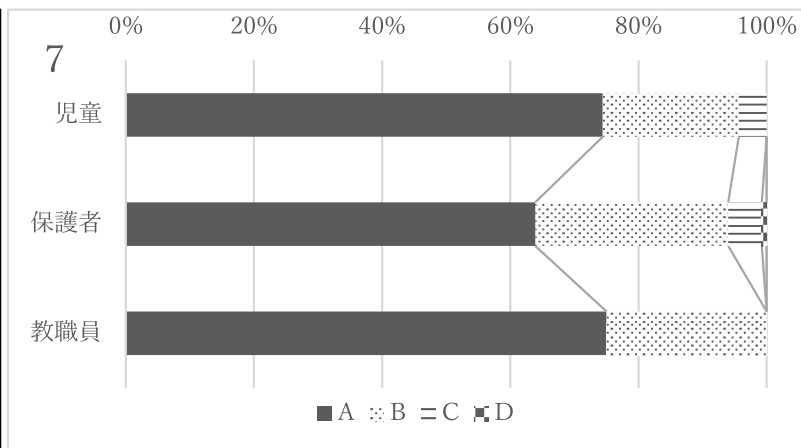


児童、保護者ともに95%近くがA・Bと回答しており、「D 思わない」の回答はありませんでした。教職員も85%近くが「A 思う」と回答しているのは、全項目の中で一番高い数値でもあります。一定の成果が表れていると捉え、継続できるように努めます。

⑦ (児童) 友達と協力して活動したり、働いたりしていますか。

(保護者) お子さんは、友達と協力して活動したり、働いたりすることの大切さを理解していると思いますか。

(教職員) 友達と協力して活動したり、働いたりすることの大切さを伝えていきますか。

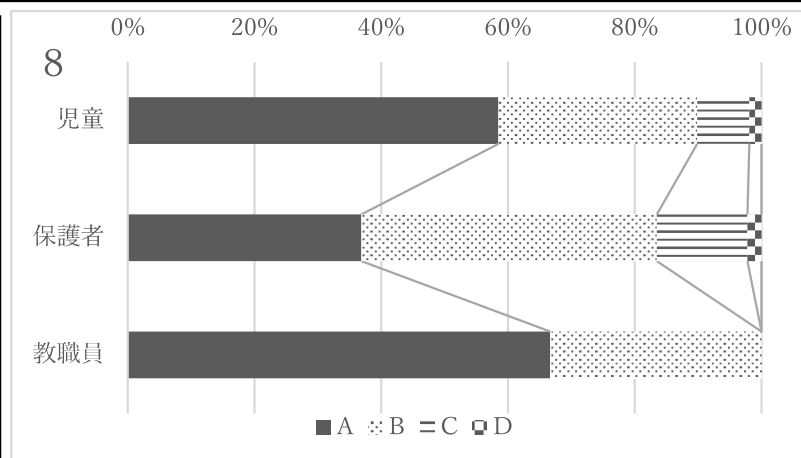


児童、保護者、教職員の A・B の合計値はおおよそ 95% を超え、それぞれ「A 思う」と自信をもって回答している割合も高くなっています。協力し合う中で乗り越え、得るものがあることを体感し、学ぶことができるのは学校ならではの成長を目指した活動に取り組みます。

⑧ (児童) めあてに向かって、粘り強く最後までやり通すことができますか。

(保護者) お子さんは、目標に向かって粘り強く最後までやり通していると思いますか。

(教職員) 目標に向かって粘り強く最後までやり通すための支援をしていますか。

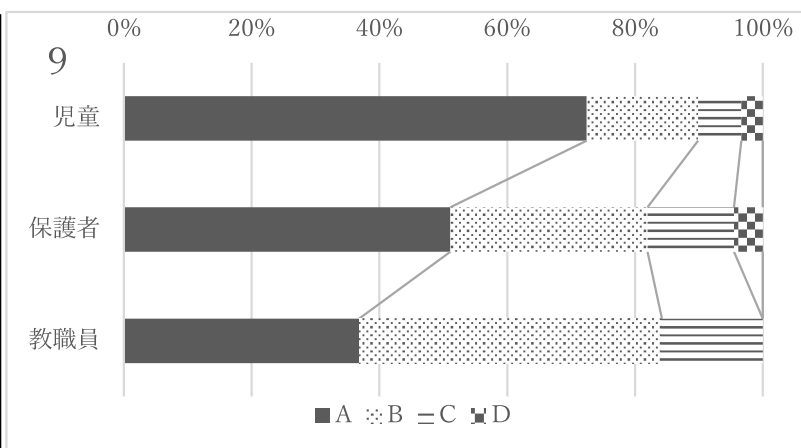


児童、保護者の A~D の比率は、昨年度とほぼ同様です。教職員は昨年度と比べて「C あまり思わない」の回答がなくなりました。引き続き、個に合った目標設定や努力過程の評価を丁寧に行い、励ましや支援をしていくことが、児童の成就感につながっていくように努めます。

⑨ (児童) 運動に進んで取り組むことができますか。

(保護者) お子さんは、運動に進んで取り組み、体力の向上に努めていましたか。

(教職員) 運動に親しみ、進んで取り組めるよう、はたらきかけることができますか。

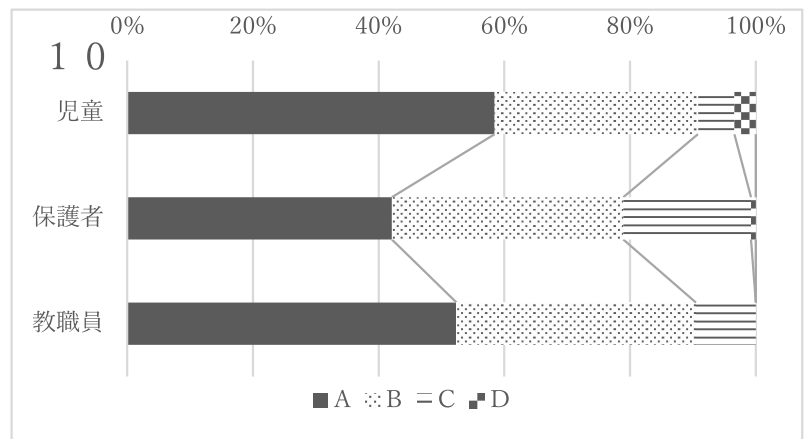


児童の A・B の合計値は約 90% で、昨年度より「A 思う」は増え、「D 思わない」は減りました。一方で保護者、教職員 (大人) は、「A 思う」が減り、「D 思わない」の回答が増えるなど、相反する結果となりました。大人の思い、願いを児童にどのように働きかけていくかが課題です。

⑩ (児童) 手洗いや必要に応じた水分補給を毎日することができていますか。

(保護者) お子さんは、健康な生活を送るために、手洗いや必要に応じた水分補給に努めていましたか。

(教職員) 手洗いや必要に応じた水分補給を習慣づけられるように、指導することができていますか。

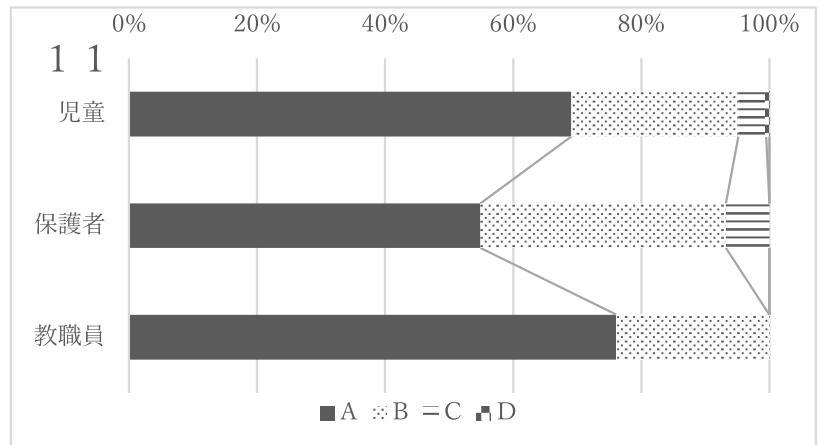


A・Bの合計値が全体(児童、保護者、教職員)として約80~90%となる結果になっていますが、C・Dの数値が昨年度と比べ増加傾向です。感染症の流行が社会問題として取り上げられていた頃より、健康意識は自己管理によるものになりました。基本的な習慣を日常化できるように働きかけます。

⑪ (児童) 学校のきまりや交通ルールなどを守って、安全に気を付けて生活することができますか。

(保護者) お子さんは、交通ルールや社会のルールを守って、地域の一員として生活している様子が見られますか。

(教職員) 学校のきまりや交通ルールなどを守って、安全に気をつけて生活できるよう、指導していますか。

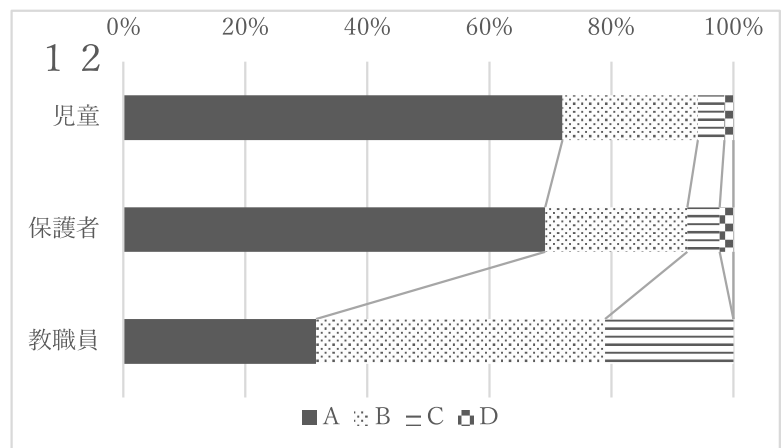


児童、保護者ともに、A・Bを合わせて95%以上の回答になっており、3年間ほぼ同様の結果です。安全に過ごすことへの意識の高さがみてとれます。気持ちにゆとりをもち、落ち着いて過ごすこと、遊ぶことができるように、ひき続き声かけをしていきます。

⑫ (児童) 地域の方に教えていただいたりふれあったりする学習は楽しいですか。

(保護者) 学校では、地域の方に教えていただいたりふれあったりする学習を取り入れています。お子さんは、この学習を楽しんでいると思いますか。

(教職員) 地域の方に教えていただいたり、ふれあったりする学習を楽しめるように授業を展開していますか。

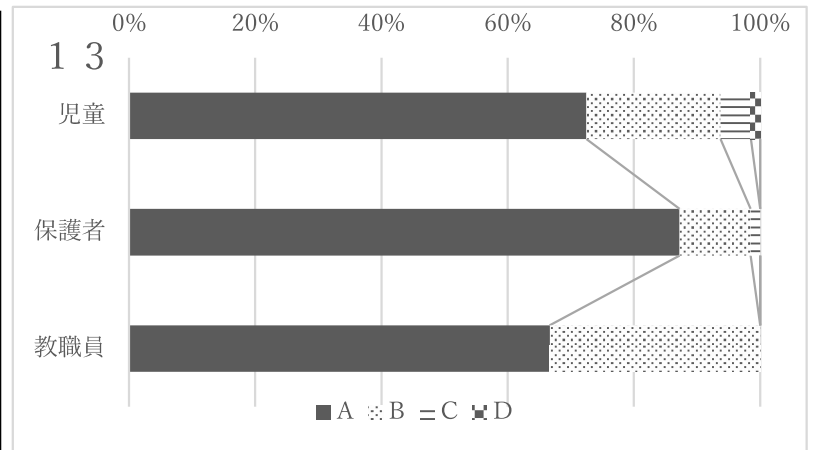


A・Bの合計値が児童、保護者ともに90%を超えてはいるものの、「D 思わない」の回答も昨年度より増えました。教職員の回答においても、A・Bともに数値が減っています。課題を明らかにし、取組方法を検討していきます。

⑬ (児童) 学校の行事に楽しんで参加していますか。

(保護者) お子さんは、学校で行っている行事に楽しく参加していると思いますか。

(教職員) 学校の行事に楽しく参加できるよう活動内容を工夫していますか。



全体（児童、保護者、教職員）として、A・Bを合わせた回答が90%を超え、高い数値となりました。教育課程全体のバランスの中で取組を工夫しながら、それぞれの立場にとって十分な手応えを感じられる活動となるように、今後も検討を重ねていきます。